

————— 中1・2生 虎の巻 —————

三重県

高校入試 **逆転合格**のポイント

家	庭	教	師	の	ト	ラ	イ
個	別	教	室	の	ト	ラ	イ

■ 入試情報

入試日	合格発表	内申点計算方法
■ 前期選抜： 2/8・9（金・土） ■ 後期選抜： 3/12（火）	■ 前期選抜： 2/16（土） ■ 後期選抜： 3/19（火）	前期選抜：3年生2学期末内申後期選抜：3年生の1月末内申

■ 内申点情報

三重県の公立高校入試の場合、中学1年、2年の5段階の成績評価は高校入試の願書を提出する際にともに提出する「調査書」に記載されます。

とくに重視されるのが中学3年時の成績の合計（内申点）となります。

計算方法は各科目で5段階の成績評価がつくので、それをすべて足したものが内申点になります。

これには実技教科の4科目も含まれますのでご注意ください。

そのため、5段階の成績評価がすべて「5」であれば45点が内申点になります。

三重県の公立高校入試では内申点が入試当日の学力検査と同じくらい合否判定に関係してくるので、学校での定期テスト、提出物、授業態度なども力を入れましょう。



■ 前期選抜

前期選抜は2月上旬ごろに行われる入試です。この入試が実施される高校とされない高校がありますので注意が必要です。

選抜方法は自己推薦書、調査書、高校が実施する検査結果を踏まえ選考されます。選考基準は各高校によって異なります。実施を希望する高等学校が、事前に公表する『学校の特色』『選抜において重視する要件』に基づき独自の選抜を行います。

原則として、普通科は入学定員の30%以内、普通科の中に設置されているコース、専門学科、総合学科は50%以内です。選抜資料としては、【自己推薦書】【調査書】です。

また、検査内容は、面接または『自己表現』、作文または小論文、実技検査、学力検査等の中から、各高等学校が自校の特色に合わせて指定した検査を実施します。前期選抜等に出願する際には、『入学確約書』の提出が必要です。そのため前期試験に合格した場合、後期試験への出願はできませんので出願校は慎重に選びましょう。

■ 後期選抜

後期選抜は3月中旬ごろに行われる入試です。この入試は一部高校のコースを除いて全ての高校で実施されます。後期選抜では、学力検査を主とし、一部の高校では、実技検査、面接、自己表現、作文、面接を実施されるところもあります。

学力検査は原則として各教科50点満点で合計250点満点で評価します。傾斜配点を実施する高校も一部あります。選抜は調査書、学力検査の結果、その他で実施された検査で評価されます。選抜方法は次の段階を踏んで実施されます。①：調査書の内容をもとに、募集定員のおおよそ100%になるように選抜します。（ここを110%、120%になるところもある。）②：志願者全員が受けている学力検査、実技検査の得点合計を得点順に並べ、そのうちの上から募集定員の80%を選抜します。③：①、②の両方に含まれるものが合格になります。④：募集定員から③で選ばれた人数を引いた人数の2分の1を①で選抜された志願者から学力検査の得点順になれあべ、高い順に合格になります。残りの合格者は「特に重視する選抜資料等」の内容をもとに決定します。

■科目別対策

英語

- 毎日英語を読もう
- 英作文を仕上げる練習を

5 W 1 H (What/Where/When/Who/Why/How) をポイントに内容を随時確認することで無駄なく訓練することができます。必須となる英作文は、合計で6文は書かなくてはなりません。普段から見たり考えたりしたことを英語で表現する習慣をつけておく必要があり、また問題条件を満たした簡単な文章を作る訓練が必要なため、何度も添削指導を実施していく必要があります。

数学

- 計算ミスをなくす
- 図形の苦手意識をなくす

小問の基本問題は早く解く訓練が必要であるので、普段から意識して計算ミスをなくすように意識しよう。平面図形分野では、円に関する出題が多く、三角形の合同や相似などの証明問題が出題されているので、円の性質、三角形の合同条件を正しく覚え、証明の仕方を何度も類題で繰り返していく必要があります。

国語

- 記述問題に慣れよう
- 自分の意見をまとめる練習を

自分の意見を書く訓練を行うことが大切です。論点に至った経緯を確認して、理由付けを明確にすることで考え方を整理します。何も書かないということがないように、常に何か書くことを意識して取り組むようにしていきましょう。発表原稿や資料の他、新聞記事やポスターからも情報を読み取って記述することができるよう、さまざまな類題を演習して慣れておく必要があります。

■科目別対策

理科

- 実験問題はパターンで覚える
- 自分の言葉で説明する力を

入試では幅広い分野から出題されているので、苦手分野をなくしておくことが必要。実験や観察から考えさせる問題も多いので、実験方法から結果まで様々なパターンを知識として得ておく必要があります。論述問題では、必要なキーワードが決まっていることが多いので、教科書や資料集などで用語や知識を確認し、自分なりの言葉で整理して、文章を組み立てることに慣れておく必要があります。

社会

- 思考力、分析力を養う
- 年表を使って流れを抑える

資料やグラフを読み取る思考力や記述にて説明する表現力を養う必要がある。地理的分野は、各国・各都道府県の自然・気候・産業・貿易などを中心に整理しましょう。歴史的分野は、各時代の政治・外交・社会・文化の特徴を押さえるとともに、年表を使って同時期の世界の出来事も押さえましょう。

内申点

- 内申点の割合が高い！
- 定期テストが大きく直結する
- 提出物は不可欠

合否判定における内申点の割合が高いのが三重県の入試の特徴です。5教科だけでなく、副教科の評価も大きく影響するので、手を抜かないことがポイント。定期テストや提出物、授業態度には慎重に対策を打たなければならないといえる。特に提出物は中身进行评估するケースも多いので、仕上げてから提出すべし。